

- 調査実施日
 - ・令和7年1月9日(木)
- 学力に関する調査
 - ・中学校1年:国語、数学、英語、社会、理科
- 実施校数
 - ・中学校1年:130(471)校
- 調査対象
 - ・中学校1年
- 学習状況に関する調査
 - ・生徒アンケート
- 実施生徒数
 - ・中学校1年:14915(56,930)人

【中学生チャレンジテスト】

- ・平均点、無解答率で表記しています。
()内の数字は大阪府の結果です。
- ・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示しています。

【大阪市版チャレンジテストplus】

- ・中学校1年社会・理科にて実施しています。
- ・平均正答率、無解答率で表記しています。
- ・ヒストグラムは10%ごとに区切った平均正答率ごとの生徒の割合を示しています。大阪市のみの調査のため、府のデータは入っていません。

・集計値/グラフは、1月9日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

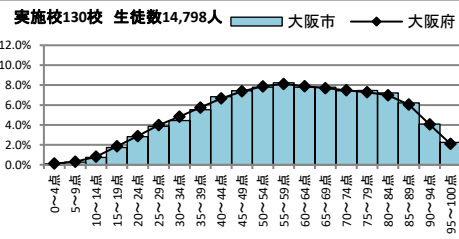
中学校1年【国語】

平均点

59.0(58.5)点

無解答率

8.3(9.4)



良好

- 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考へること
- 発言者の言葉の意図を理解すること

課題

- 自分の考えを、根拠を明確にして話すこと
- 前後の文脈に合わせてふさわしい表現で書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★意見を述べるときは、根拠が明確になるように、話の構成を考えよう。その際、根拠として適切な情報を収集できるよう、話の目的を常に意識しながら活動するようにしよう。
- ★文章を書くときは、前後の文脈を確認しながら、文体などを意識して書くようにしよう。また、自分の書いた文章を見直し、表記や語句の用法を確かめて、文章を整えよう。

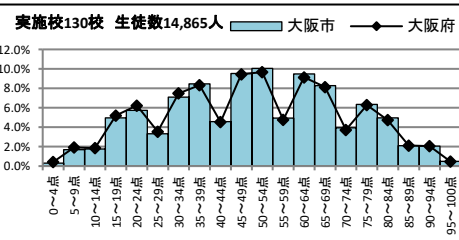
中学校1年【数学】

平均点

50.5(49.8)点

無解答率

7.4(8.8)



良好

- 具体的な図形で、平行移動を見出すこと
- 比例の関係を表す表から、xの値に対応するyの値を求めること

課題

- 問題の中にある数量に着目し、一次方程式をつくること
- 具体的な事象に対応させてグラフや式から情報を取り、事象に対応させて解釈して数量を計算すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★具体的な事象を、式や図などに表すことができるように練習しよう。また、方程式をつくる時には、他者の考え方と比較をし、多様な考え方で方程式をつくり、解いたりできるようにしよう。
- ★具体的な事象において、式、表、グラフなどが何を表しているかを確認するようにしよう。また、事象を説明する際には、数学的な表現を用いて説明する練習をしよう。

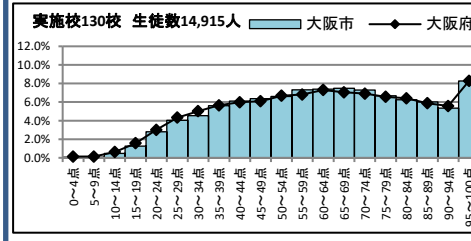
中学校1年【英語】

平均点

62.1(61.5)点

無解答率

4.9(5.8)



良好

- まとまりのある英文を聞いたり読んだりして、内容の要点を適切に把握すること
- まとまりのある英文を読み、その内容の要約を書くこと

課題

- 単数や複数を使った文法事項を理解して、正しい文を書くこと
- 会話の流れを踏まえながら読むこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★単数と複数で使用語彙が異なるなど、日本語にないような文法事項については、発話を含め練習活動を繰り返して習得しよう。
- ★問題文にある目的、場面、状況をしっかりイメージして読み進め、文と文のつながりを意識しながら話の概要を捉えよう。

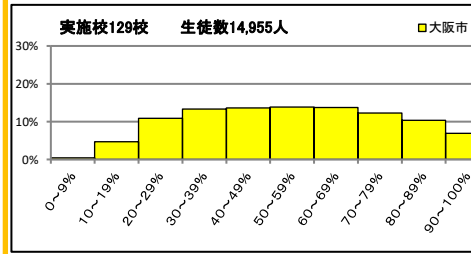
中学校1年【社会】

平均正答率

53.7点

無解答率

5.5



良好

- 世界各地の人々の生活について、住居の特色を理解すること(地理)
- 仮名文字について理解すること(歴史)

課題

- アジア州の産業、歴史的背景について理解すること(地理)
- 東アジアの動きが日本の文化に与えた影響について、資料をもとに考察し、表現すること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★複数の資料を見比べたり結び付けたりして、目的に応じた情報を選別して読み取りましょう。
- ★政治の展開、産業の発展、社会の様子、文化などについては、世界の歴史を背景に他の時代との共通点や相違点に着目してその特色を捉えよう。

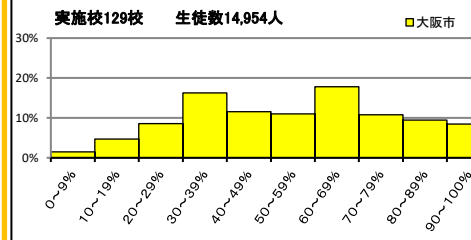
中学校1年【理科】

平均正答率

55.6点

無解答率

3.8



良好

- 動物の分類におけるホニウ類の特徴を理解すること
- 気体を発生させたり、気体の性質を確認したりするときの注意点について理解すること

課題

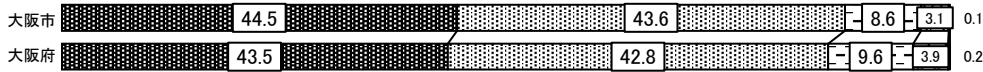
- ルーベが光の屈折を利用している道具であると指摘すること
- 密度を求めることで、金メダルは金だけでできていないことを分析し、記述すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★身近な物理現象を日常生活と関連付けて理解しよう。また、光の反射や屈折、凸レンズの働きについての規則性や関係性を見いだして表現しよう。
- ★物質の体積や質量から、密度を求められるようになりましょう。また、密度から物質を区別することができることを理解しよう。

1年生におけるアンケート結果

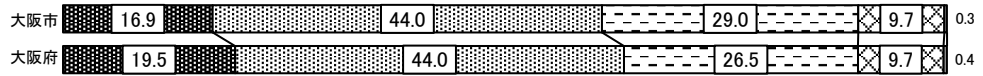
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



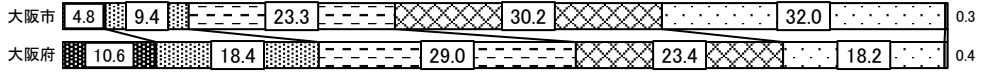
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



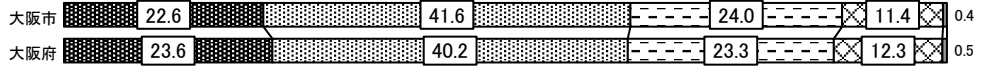
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



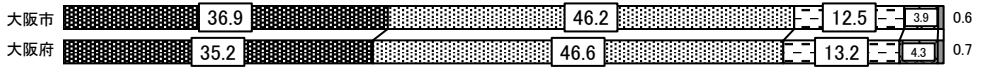
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



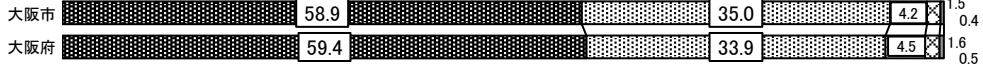
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



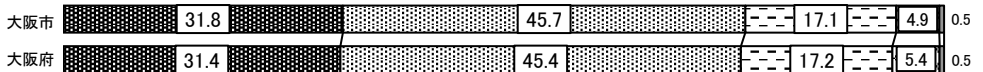
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



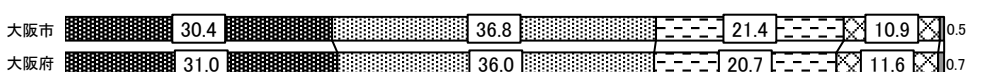
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



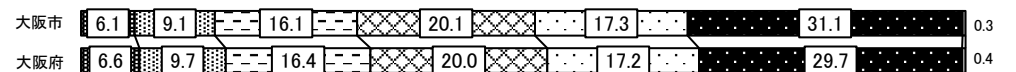
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



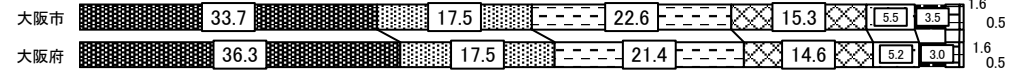
1~3、5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



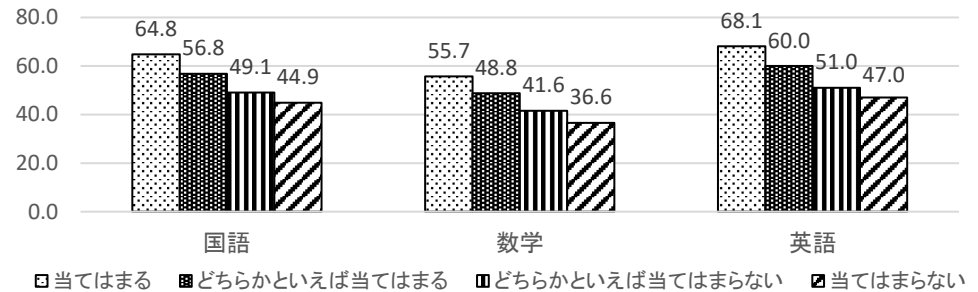
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない □全くしない □その他・無回答
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない □30分より少ない □スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

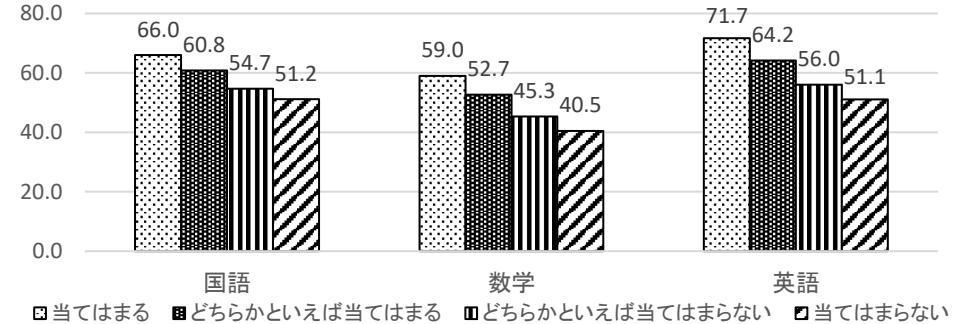
教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

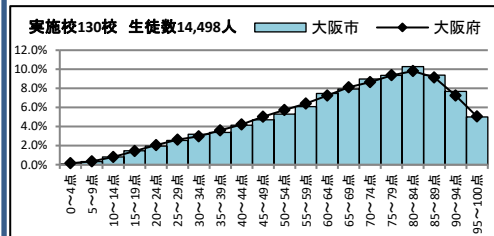
令和6年度中学生チャレンジテスト(2年生)の結果概要

大阪市教育委員会

- 調査実施日
 - ・令和7年1月9日(木)
 - 学力に関する調査
 - ・中学校2年:国語、数学、英語、社会(A・B)、理科(A・B)
 - 実施校数
 - ・中学校2年:130(469)校
 - 調査対象
 - ・中学校2年
 - 学習状況に関する調査
 - ・生徒アンケート
 - 実施生徒数
 - ・中学校2年:14,614(56,686)人
- 【中学生チャレンジテスト】
 ・平均点、無解答率で表記しています。()内の数字は大阪府の結果です。
 ・ヒストグラムは5点ごとに区切った得点ごとの生徒の割合を示しています。
- ・集計値/グラフは、1月9日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

中学校2年【国語】

平均点 66.1(65.5)点
 無解答率 8.4(9.3)



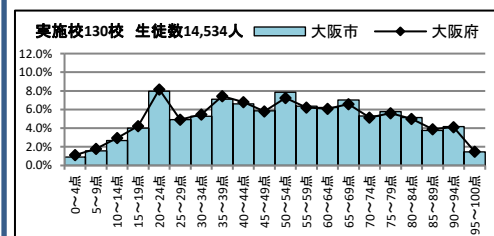
- 良好
- 文章の中での言葉の働きを理解すること
 - 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること
- 課題
- 文脈に即して漢字を正しく書くこと
 - 読み手の立場に立って文章を整えること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★授業やそれ以外の場面において、日常的に意識して漢字を用いて書くようにしましょう。特に、小学校で学習した漢字については、デジタルドリルなども活用しながら効率的に復習しましょう。
- ★文章を書くときは、根拠の適切さを考えたり、表現の効果を考えたりして自分の考えが伝わるように工夫しましょう。また、書いた文章をお互いに読み合い、改善点を具体的にアドバイスし合ひましょう。

中学校2年【数学】

平均点 51.4(50.7)点
 無解答率 8.2(9.5)



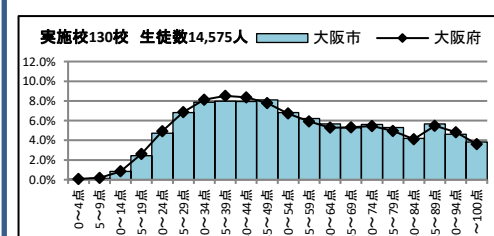
- 良好
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えること
 - 連立二元一次方程式の解の意味を理解していること
- 課題
- 証明されたことや平行線の性質、三角形の性質などを用いること
 - 事象をグラフの特徴に即して解釈し、グラフが表していることを数学的に説明すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★証明されたこと以外にも、平行線や三角形などの図形の性質が成立しているかどうかを探る練習をしましょう。
- ★問題場面において、目的に応じてつくった式や表、グラフ等がどのような意味を持つのかを事象に即して読み取ったり、解釈したりする練習をしましょう。

中学校2年【英語】

平均点 54.6(54.0)点
 無解答率 7.0(7.9)



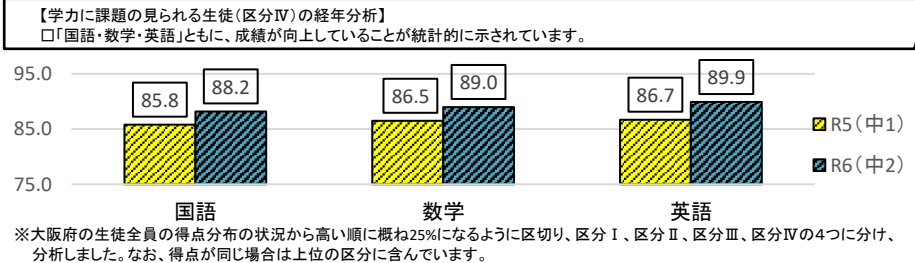
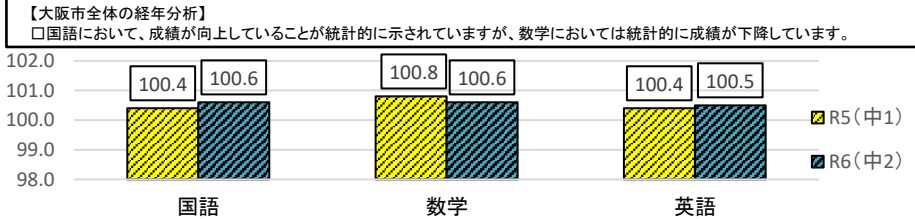
- 良好
- 短いやりとりを聞いて話し手の意向を正確に理解すること
 - 日常会話についてのもっともらしいやり取りを聞き、会話の内容の概要や要点を適切に把握すること
- 課題
- 日常会話についてまとまりのある会話文を読み、会話の内容の要点を適切に把握すること
 - 文法や語彙の知識を活用し、会話の流れに合う英文を書くこと

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★要点の手掛かりとなる語句や表現に着目しましょう。また、英文を言い換えたり、要約したりしながら表現の幅を広げましょう。
- ★気持ちや考えを伝え合うなどの言語活動を通して、会話の流れの中で学んだ文法事項を繰り返し表現しましょう。

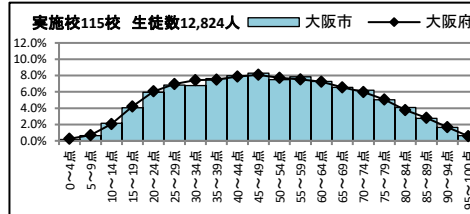
標準化得点を活用した経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
 ※令和5年度と令和6年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。



中学校2年【社会A】

平均点 49.9(49.5)点
 無解答率 4.6(5.2)



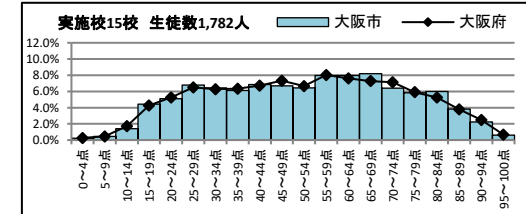
- 良好
- カルデラについて理解すること(地理)
 - 江戸時代の歴史人物(近松門左衛門)について理解すること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★資料から情報を読み取る際には、年号や数値に着目して、社会的事象の傾向や変化などを読み取るようにしましょう。
- ★江戸時代の大きな流れを捉えた上で幕府の改革を捉え、その展開や意義を捉えるようにしましょう。

中学校2年【社会B】

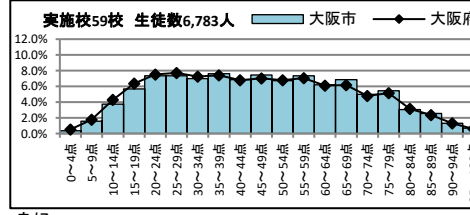
平均点 52.6(52.4)点
 無解答率 4.4(5.0)



- 課題
- 日本の人口の移り変わりについて、資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明すること(地理)
 - 江戸幕府の政治の推移を考察すること(歴史)

中学校2年【理科A】

平均点 47.0(45.9)点
 無解答率 5.7(6.6)



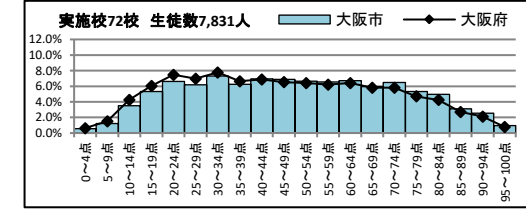
- 良好
- 銅と酸素が結びつくときの化学変化や化学反応式を理解すること
 - 消化酵素のはたらきにより、食物がどのような物質に分解されるかを理解すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★化学変化の前では原子の組み合わせが変わることを、原子や分子のモデルを用いて考えましょう。
- ★実験結果をもとに、異なる条件とそれによって起こったことを関連付けて考え、表現しましょう。

中学校2年【理科B】

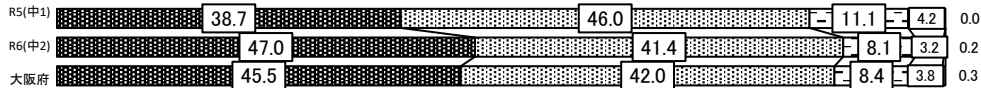
平均点 49.5(47.2)点
 無解答率 6.1(7.4)



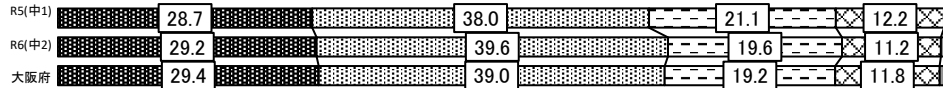
- 課題
- 化学反応式の係数の比から、各分子の数を考えること
 - 対照実験から確かめられることについて、条件をもとに考えること

2年生におけるアンケート結果

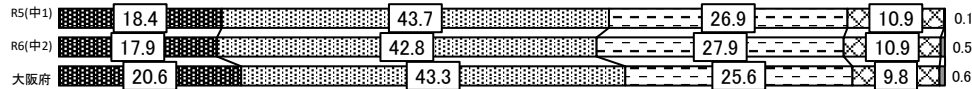
1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



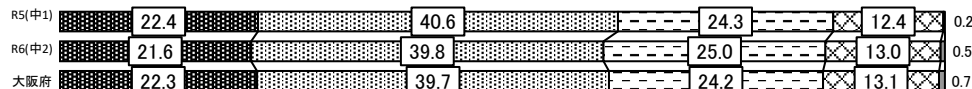
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



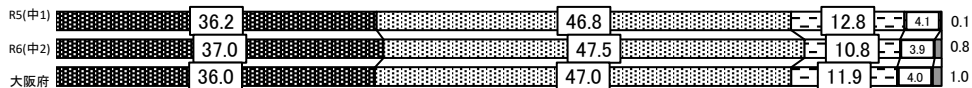
4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



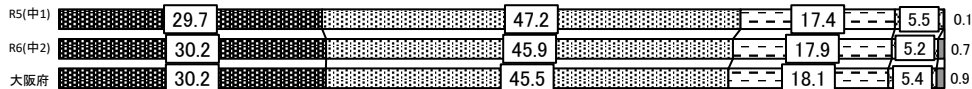
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



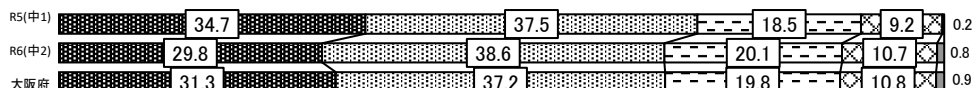
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。



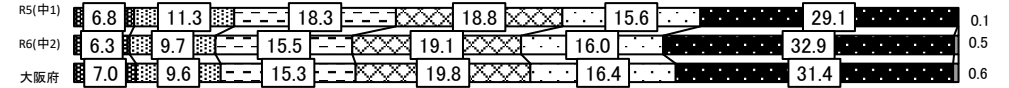
9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



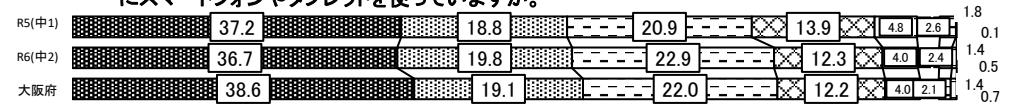
1~3, 5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない □その他・無回答

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



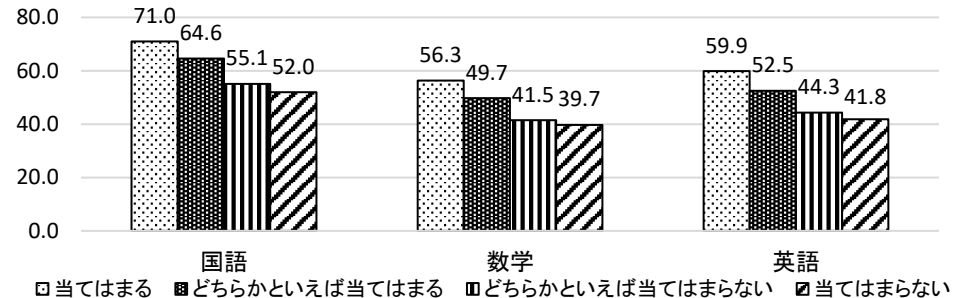
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない □10分より少ない ■全くない □その他・無回答
11 ■4時間以上 □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない □1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない □スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答

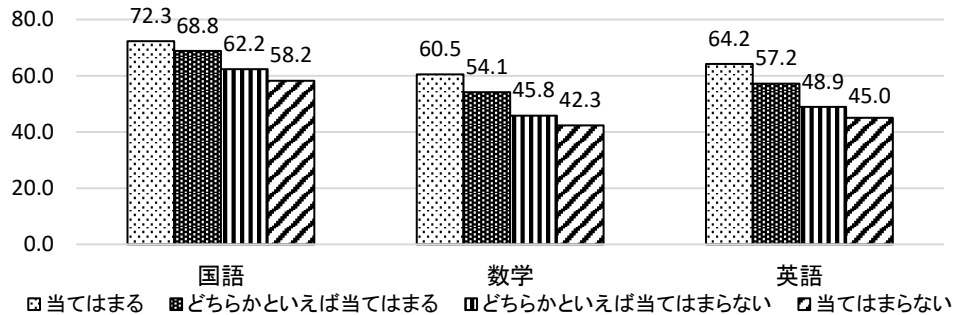
教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向がみられます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html